

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		第5回川島町地域公共交通会議
開 催 日 時		令和3年12月13日（月）16時から16時50分
開 催 場 所		川島町役場 2階 中会議室
議 題		（1）東武バス川島町役場線について （2）かわみんタクシーについて （3）その他
公開・非公開の別		公 開（傍聴者0名） ・ 非公開 ・ 一部非公開
非 公 開 の 理 由 （非公開の場合のみ）		
出席者	委 員	久保田委員、石島委員、瀬間委員、飯島委員、加藤委員、樽見委員、 斉藤委員、藤田委員、小川委員、西野委員、桑原委員、北嶋委員（代理）、 江間委員、岡部委員、谷島委員、坂本委員
	事務局職員	政策推進課 友野主幹、岩下主査、品川主任
配 布 資 料		会議次第、資料1～7
審議会等の内容・概要		
1 開 会 （事務局より会議の開会にあたり、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議事より行うこととし、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。） 2 会長あいさつ 3 議事 会 長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。小川委員、西野委員にお願いする。 （1）東武バス川島町役場線について（事務局にて資料1～3を用いて説明。） 会 長：特に意見はないようなので、廃止に向けた手続き等を遺漏なく進めること。		

(2) かわみんタクシーについて(事務局にて資料4～6を用いて説明。)

会 長:登録者が3,300人を超えているとのことだが、一回でも利用した方はそのうちどれくらいか。

事務局:昨年度の実績では、40%程度である。

会 長:若者の利用促進について、これまでも検討してきた。この点についていかがか。

委 員:町内の若い世代、特に高校生は自転車による移動が多いと感じる。また、かわみんタクシーは日中しか利用できないため、高校生が利用するとなるとテスト期間のわずかな日数しか利用できない。利用機会が限られているのであれば、高校生を利用促進の対象とするのは得策ではないのではないか。高校生の移動支援は、別の方法を検討されたい。一方で、近頃高齢者による交通事故の報道が多いことから、町民の運転免許返納を促す取組にシフトチェンジしてはいかがか。

事務局:運転免許返納者はかわみんタクシーの割引対象となっている。この割引が適用される件数は増加傾向にある。

委 員:警察としても、運転免許の返納を促進している。

会 長:かわみんタクシーの今あり方を考える上で貴重な意見をいただいた。今後、適宜協議したい。

(3) その他(事務局にて資料7を用いて説明。)

事務局:関係機関と調整しながら危険バス停の解消に努めていく。

(健康福祉課 江間委員よりミライロIDの普及促進について説明。)

委 員:埼玉県乗用自動車協会として、県内タクシー事業者に対応を求める通知を発出している。

委 員:かわみんタクシーにおいても、アプリ画面の提示で割引となるよう対応する。

4 閉 会

署 名	小川 ゆかり 
	西野 利彦 